

初級者にぴったりの 『ベーシックジーニアス英和辞典』

原川博善



■図解とわかりやすい表示

使いやすく生徒の興味を引く辞典をめざして、学校での学習に必要で十分な語彙・成句（約40,000項目）を収録しました。また、「語法のジーニアス」の特色を生かしつつ、随所に一目でわかるイラストと各種コラム欄を設けました。

◇主な特長

- a 発音のカタカナ表記
- b 基本語の語義の図解
- c 重要語の語義インデックス
- d 分かりやすい文型表示
- e 自動詞・他動詞の関係図示
- f 重要語は赤い大きい文字で表示

中学上級から高校初級の生徒の現在の力とニーズに合わせて選んでいただければ幸いです。

■見てすぐわかる使いやすさ

『ヤング ジーニアス英和辞典』（1992）で他の同種の辞典に先がけて導入した「基本語の語義の図解」、「対話形式の用例」、「Q&A欄」を受け継ぎ、増強しています。以下で実例をあげます。

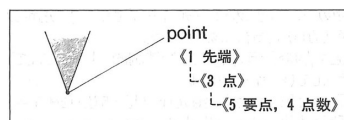
◇「基本語の語義の図解」「語義インデックス」

基本語、重要語では必要に応じて語義の図解、語義インデックスによって語をイメージしやすくなっています。（右上図参照）

◇「対話形式の用例」

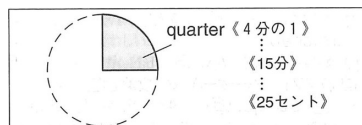
対話 “Come downstairs. Dinner’s ready.” “I’m coming.” 「降りておいで。夕食ですよ」「今行きます」

対話 “That’s the telephone.” “Will you answer



→ 図1先端 3点 4点数 5要点 6程度
動 1さし示す 2向ける 3とがらせる
目 1指さす

『point』の語義の図解と語義インデックス



→ 図14分の1 215分 325セント硬貨

『quarter』の語義の図解と語義インデックス

it for me?” “OK.” 「電話が鳴ってるよ」「出てくれる」「わかった」

対話 “Can I see you for a minute?” “Sure. Come on in.” 「ちょっとの間お話しできますか」「いいよ。お入りなさい」

このようにコミュニケーションを重視し、生きた場面でのやりとりを示すとともに、一般の用例でも会話の決まり文句を数多く収録しており、実際の場面に生かすことができます。和英辞典を併用すればさらに表現の知識と理解が増します。

◇Q&A欄の実例

Q&A Q: I forget. と I forgot. はどのように使い分けられますか?
A: 忘れて思い出せない時は I forget. を、忘れていて思い出した時は I forgot. を用います。次例を比較してください: **対話** “What was the title of the movie you saw yesterday?” “I forget [have forgotten].” 「きのう君の見た映画の題は何だった?」「忘れたよ」 / “Did you shut the window?” “Oh, I forgot.” 「窓を閉めた?」「あっ、忘れてた」。

『forget』のQ&A欄

このほか、climb と go up, ride [get] on a bus などの違い、Pardon? など反復をもとめる表現のバリエーションなどの語法や phone (← telephone) のような短縮語に関する [Q&A] に加えて、英米の釣り銭の渡し方、Shakespeare の四大悲劇は?、テニスで 0 点をなぜ love というのか、などのクイズもあり、ほかの [関連]、[文化]、[比較] などのコラムと共に、生徒が辞書に親しみ、英語への興味を深められる仕掛けが満載です。

■実感できる文型表示

文型表示には、A, B などの記号と on, with, to などとを組み合わせて、動詞と主語、目的語などの関係が理解しやすい方式をとっています。特に初級者には SVO 型表示より分かりやすいでしょう。

◇自動詞と他動詞の関係

自動詞と他動詞の交替が見られる動詞では、次の図式で自・他相互の関係が把握しやすくなっています。

他と自の関係	
④ A benefit B	A が B のためになる
⑤ B benefit from A	B が A で利益を得る

他と自の関係	
② keep A C	A<人・物・事>を C のままにしておく
① 1a A keep C	A<人・物・事>が C のままである

◇目的語間の関係

目的語間の関係も、A B 方式では明示性が高く、説明も容易で生徒の理解を助けます。

- [load A into [onto] B / load B with A]
B <車など>に A <荷など>を載せる
G5の表示: [SVO₁ onto [into] O₂], [SVO₂ (with O₁)]
• [give A B / give B to A]
A <人>に B <物>を与える
G5の表示: [SVO₁ O₂ / SVO₂ to O₁]
• [have A do (B)], [have B done (by A)]

A <人>に(B <物>)を)…してもらう、

(A <人>)に B <物>を…してもらう

G5の表示: [SVO do / SVO done]

例えば、最後の例を見てみると、AB 方式の表示によって以下の 2 つの文

I'll have a repairer fix the air-conditioner.

I'll have the air-conditioner fixed.

の相互の関係がわかりやすくなったと思われる。

■理解と興味を促すそのほかの工夫

◇わかりやすいカタカナ発音

初級学習者に最初から発音記号を用いて指導することがむずかしいこと、また英語音への中間発音として把握しやすいことを考慮してカタカナ表記を採用しています。

lead, read; usual, juice は、それぞれ /リード/, /ウリード/; /ユージュアル/, /ヂュース/ のように /l/ と /r/; /z/ と /dʒ/ の違いが意識できるようになっています。また、米英の発音の違いが

hospital/ハスピトル, ホスピトル/ のように示されています (強勢の太字、語尾の小文字にも注目)。

◇U名詞とC名詞

名詞の可算・不可算について、必要に応じて見やすく表示して注意を促しています。

homework 1 宿題

[C]と[U] homework [U]
assignment [C]

room 4 空間

[C]と[U] 部屋 [C]
空間, 余地 [U]

(はらかわ ひろよし・元平安女学院大学短期大学部教授)